



2023 JR総連春闘を職場から闘おう！シリーズ⑭

リニア建設は中止せよ！ 更衣時間は労働時間だ！ 第5回団交

本部は本日、2023年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求に関する申し入れに対する第5回団体交渉を開催しました。今回は、リニア建設、更衣時間、規程の訂正、組合掲示板の設置などについて議論しました。

リニア建設について、冒頭、本部は山梨県で高速長尺先進ボーリングの削孔を静岡県及び国土交通省との合意なしで強行したことに対し抗議し、中止を要求しました。そして「ボーリングは水抜きが目的で、調査とは詭弁だ。次期社長の丹羽副社長は『静岡の他にも難しい工事はある。開業時期は申し上げられない』と見解を示した。資金調達や返済計画の見通しも立っていない。中村副社長は『コロナ禍で新幹線の乗客は以前のように戻らない』と述べた。経営破綻は確実だ。今すぐ建設を中止せよ」と主張しました。会社は「ボーリングについては分からないので答えられない。健全経営・安定配当を堅持し、当社の大動脈輸送という使命を果たす」などと、曖昧な回答に終始し、建設ありきの姿勢を崩しませんでした。

更衣時間について、本部は「厚生労働省のガイドラインすら守れないことは、法令違反と同様だ。職場には更衣室というものがある。これが一流企業のやることか」と訴えました。会社は「更衣する時間、場所は指定していない。指揮命令下にはないため、ガイドラインには反していない」などと、言い訳に終始しました。

規程の訂正について、本部は「勤務時間内でできないことは、この間さんざん言ってきた。だから訓練時間に規程の訂正時間を盛り込めば良いだけのことだ。訓練でできないなら超勤は当たり前だ」と主張しました。会社は「準備報告時間の余りでできる」などと、乗務員の作業を理解しようとする姿勢は全くありませんでした。

組合掲示板について、本部は「労働協約第16条には人数は謳われていない。1人でも組合員がいれば、協約に則り掲示板を設置せよ」と主張しました。会社は「会社が許可を出す。基準を決めている」などと傲慢な態度に終始しました。

以上で申し入れに対する議論は終了し、次回の団体交渉で回答を受けます。